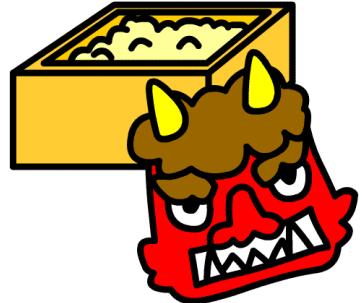


令和7年度 2月号
江戸川区立大杉小学校 ことばの教室
校長 藤田 曜美
電話・FAX 03-3653-7784

寒い日が続き、心身ともに疲れが出やすい時期になりました。2月は1年の中でも生活リズムが乱れやすい時期です。同時に次の学年へ向けた準備が少しづつ始まる大切な時期でもあります。寒さの中でも子どもたちは、それぞれのペースで自分の目標に向かって前に進んでいます。ことばの教室でも、子どもたちが安心して学べるよう、引き続き一人ひとりに合った丁寧な支援を心がけていきます。



2・3月の主な行事予定

【2月】

- 2月 2日（月） 振替休業日（全日通級なし）
- 2月 4日（水） 区小研（午後の通級なし）
- 2月 18日（水） ことばの教室 学習発表会（午後の通級なし）

【3月】

- 3月 4日（水） 大杉小学校 卒業を祝う会（午後の通級なし）
- 3月 12日（木） 通級指導終了



検査・相談は、毎週月曜日午前10時40分から行っています

学習発表会のお知らせ

2月18日（水）に学習発表会を予定しています。発表をする予定の子どもたちは、担当者と相談しながら発表の準備を進めています。内容は、これまでの学習の成果や頑張っていることの紹介、好きなものの紹介など多岐にわたります。当日の学習発表会がさらに実り多いものとなるよう、引き続きご協力をお願いします。

【日時】令和8年2月18日（水）14：30～16：30

【会場】大杉小学校・フレンドルーム（1階）

「家庭でできる」ことばの力を伸ばす方法

子どもが学校で使う「ことば」は、日常会話とは少し違った力を必要とします。家庭での何気ない会話や経験は、ことばの力を育てる大切な土台になります。今回は、毎日の生活の中で無理なく取り入れられる、ことばの力の伸ばし方をご紹介します。

①ことば同士を比べる

子どもが意味を知らないことばに出会ったときは、子供が既に知っていることばを取り上げて、そのことばと「似ている」と伝えるだけでなく、どこが同じで、どこが違うのかと一緒に考えてみることが大切です。比べることをしないと、「似ているから同じ」と大まかにとらえてしまいがちですが、似ている部分と違う部分を両方意識して比べることで、理解がぐっと深まります。

似ているけれど、使い分けが大切なことば（例）

- ・「大きい」と「多い」（サイズ/数）
- ・「予定」と「予想」（決めている事/こうなりそうと考える事）
- ・「必要」と「大切」（ないと困る/重要であること）
- ・「理解」と「納得」（意味が分かる/気持ちとして受け入れる）
- ・「順番」と「手順」（並び/やり方の流れ）

②買い物のときはチャンス

買い物は、子どもの「ことばの力」を育てる大切な場面です。売り場にあるイラストや表示をきっかけに、「“生”と“冷凍”ってどう違うの?」「“国産”ってどこでつくられたってこと?」と親子で話すことで、自然と語彙や漢字への興味が広がります。漢字はドリルで覚えるだけでなく、生活の中で漢字やことばの意味を考えたり、会話をしたりした経験が記憶に残ります。「勉強」と「生活」をはなさず、日常の中で気づきや対話を大切にすることが、ことばの力を伸ばす近道です。



③時間のことばを育てる

「前」「後」「先」などの時間のことばは、子どもにとって意外と難しいものです。お出かけや遊びの計画を立てるとき、「いつ行く?」「何日後かな?」と具体的に話すことは、時間のことばを使うよい練習になります。カレンダーを見ながら印を付けたり、日常の中で繰り返し会話にしたりすることで、見えにくい時間の感覚が少しづつ整理されていきます。

